

# サイエンス社・数理工学社・新世社 2018年4月の新刊案内

## || 理学 ||

工科のための数理 8

工科のための 複素解析

番線印

岩下弘一（名古屋工業大学准教授）著  
A5判 216頁 本体2300円  
ISBN978-4-86481-054-8

（ 冊）

【内容】本書は複素解析の入門書で、工科系の学生を対象とした教科書。丁寧な解説と豊富な例、例題、章末問題を通して理解へと導く。見やすいレイアウト・2色刷の好個の教科・参考書。

【主要目次】複素数と複素関数／複素関数の微分／複素積分／テイラー展開／ローラン級数／留数解析／等角写像

## || 雑誌 ||

数理科学2018年5月号

特集名：微積分の考え方

— 理解のためのヒントとポイント —

番線印

B5判 100頁 本体954円  
20日頃発売

（ 冊）

【内容】特集テーマである「微積分」は、いまや理工系の必須事項となっており、その重要性は増すばかりです。本特集では、微積分で登場する、極限、収束、テイラー展開、多変数の微積分など、様々なキーワード（=初学者を悩ませるものが多い）に焦点を当て、それらについて、何が重要なのかといったことや、考え方そのものの重要性を軸に紹介していきます。

【主要目次】巻頭言／極限のとりえ方／ $\varepsilon$ - $\delta$ 論法への入り口／変数が増えたときの微積分／テイラー展開／積分の見方／微積分で記述される力学系／コンピューターで微分すること／【コラム】私の微積分学事始め

臨時別冊・数理科学SGCライブラリ 140

格子場の理論入門

番線印

大川正典（広島大学教授）  
石川健一（広島大学准教授）共著  
B5判 224頁 本体2407円

（ 冊）

【内容】場の理論を非摂動的に研究する手段として確立している格子上の場の理論を多自由度系の量子力学を基礎に解説。学部四年生も読者に想定された、著者の大学院での講義の経験が十二分に活かされた入門書。

【主要目次】1次元の多粒子系と場の理論／経路積分／摂動論／くりこみとくりこみ群／格子上での非摂動的くりこみ群／格子場の作用／格子ゲージ理論／漸近的自由な場の理論／シミュレーションアルゴリズム／弦定数／ハドロン質量／ツイスト境界条件とラージN理論／時空縮約理論／付録

(株)サイエンス社・数理工学社・新世社 営業部 担当:瀧山  
東京都渋谷区千駄ヶ谷1-3-25  
TEL (03) 5474-8500  
FAX (03) 5474-8900  
ホームページ <http://www.saiensu.co.jp>  
営業部E-mail [sales@saiensu.co.jp](mailto:sales@saiensu.co.jp)  
※お問い合わせに関しましては上記までお願いいたします。